

令和4年度

第3回

## 「学校運営協議会」議事録

〔開催にあたって〕

1 開催日時：令和5年2月13日（月）10：00～11：45

仲本小学校 二階会議室

2 委員の出欠席

〔委員会議事〕

開会宣言

あいさつ

1 学校運営状況等に係る評価について

2 熟 議「今年度の振り返りと次年度の見通し」

3 次年度の学校運営状況に関する基本的な方針について

事務連絡

1 学校運営協議会委員へのアンケート調査について

2 次年度の学校運営協議会活動予定 等

閉会宣言

引き続き

〔いじめ対策委員会〕 11：45～12：00

## 令和4年度 第3回「学校運営協議会」議事録

### 〔開催にあたって〕

- 1 開催日時：令和5年2月13日（月） 午前10時～11時45分
- 2 委員の出欠席

### 〔出席委員（敬称略）〕

芹澤妙子（本太一丁目自治会長）、佐々木 弘（前地自治会長）、山内 鞠（同窓会長）、内田勝也（青少年育成仲本地区会長）、三上憲治（東仲町自治会長）、佐藤麻里（原山中学校PTA副会長）、安蒜志津香（仲本小学校PTA会長）、南 香織（仲本小学校PTA副会長）、小坂佐紀（主任児童委員）、宇佐見弘幸（校長）、西田将司（教頭）、橋本マキ（教務担当教諭）、秦野昌明（学校地域連携コーディネーター）

### 〔欠席委員〕

大久保公子（事務主幹）

### 〔委員会の議事〕

安蒜副委員長による司会進行

- 1 芹澤委員長により開会宣言
- 2 校長あいさつ
- 3 教頭より学校自己評価システムシートの概要説明（※学校自己評価システムシート参照）

一年間の活動を振り返って、今年度の評価と次年度の課題・方策は次のとおり。

### （シート1項）

○ 学びの中で、自力解決の時間の確保ができた。一方、家庭におけるデジタル教材等の活用に課題が指摘されている。また、共に伝え合い理解を深めあうことが大切である。

○ 児童が学習計画を立てて進めた。一方、児童自らが学び方を調整する心構えが必要と感じた。

(シート2項)

- 教育環境の整備が進んだ。一方、タブレットの持ち帰りに課題が指摘されている。
- 児童が自ら自己決定できる場を設けた。また、児童が積極的にあいさつを行っている。今後は、地域で褒められる、あるいは提言・改善案等が述べられる機会・場所づくりを考えたい。
- 相手の気持ちに立ち 自らから考える心構えづくりを進めた。いじめをなくすため「観衆」、「傍観者」への自覚を即し、児童が主体的に行動できることが大切である。

(シート3項)

- コミュニケーション力の育成が進んだ。児童が学校・家庭・地域で「つながり」、「連携」の機会をつくることが大切である。

(シート4項)

- 職員等の研修に努めた。研修成果を基に、児童が自ら学ぶ意欲づくりの事例等を提案したい。

#### 4 熟 議

学校自己評価システムシートをもとに、今年度の成果と次年度への課題等について熟議を行う。

(1) 安蒜副委員長の進行で熟議が始まる。

各班の委員は次のとおり（敬称等略）。

1班： 芹澤妙子・南 香織・秦野昌明

2班： 三上憲治・小坂佐紀・西田将司

3班： 内田勝也・佐藤麻里・橋本マキ

4班： 佐々木 弘・山内 鞠・安蒜志津香

(2) 熟議は4つの班で活発に行われた。各班で出された意見は次のとおり。

1班：〔成果〕①「あいさつ運動は缶バッチの製作・配布と相まって、上手く行っている」、「児

童はコミュニケーション力を付けてきたと感じる」。②「地域との協働で地域の教材化を進めた」、③「児童が主体的な行動をとっている芽が見えた」

〔課題〕①「地域とのつながりを強める交流の場を生かす」（公民館のみならず、東仲町の『みんなの居場所』、児童センター等）、②「児童が積極的に主体的な行動をとるようになるには、児童にはどのような行動・活動をして欲しいのか、具体的な事例を提示しても良いのではないか」、③「地域との協働の具現化として、教育資源を児童・地域・職員研修等で活用してはどうか」、④「SDGsを身近な題材として、いじめ対策に活用してはどうか」

2班：〔成果〕①「あいさつ運動に参加して、児童の表情が良い方へ変化した」、②「デジタル教材の活用では個人差が見られるが、前進している」、③「交通安全意識が育っている(大人のルール無視への指摘)」

〔課題〕①「児童が主体的に学ぶためのデジタル教材の活用で、実体験と仮想体験の違いを具体的に指導する必要を感じる」、②「児童の安心・安全な環境づくりには、学区内の日々の変化を知ることが大切」、③「いじめを無くすには『観衆』、『傍観者』への寄り添いが大切」、④「体力向上については引き続き進めてほしい」

3班：〔成果〕①「あいさつ運動を進める中で、児童が地域から見守られているとの思いを強くした。併せて保護者等も行動・考えに変化が見られ、『つながり』の芽が広がった」、②「タブレットの活用が浸透した」

〔課題〕①「『つながり』を強める一環として、地域の特色、良さ（学校のようす・催し・郷土等）を生かしてはどうか」、②「豊かな地域を目指して、児童が主体となって身近な情報等を発信できる場を提供する」

4班：〔成果〕①「あいさつ運動の広がり」、②「デジタル教材、タブレット学習の進展」

〔課題〕①「デジタル教材、タブレット学習を進める中で、取り残される児童がいないよう十分配慮」、②「タブレットの安全な使い方の指導と発信・発表の場をつくる」、③「『コミュニケーション力の向上は家庭から』の視点で、一層の生活習慣を身

に付けさせる」、④「児童の社会性を養うため、地域であいさつ運動を一層 推進する」⑤「登下校コースの改善策の再考」、⑥「いじめ対策は児童同士の相互理解（思いやり）と『だめ』と指摘できる環境づくり」、⑦「児童の持ち物等の軽減化と交通安全ルール（道で広がらない・遊びながら帰らない等）の啓発」

### （3）熟議のまとめ

短時間で多くの意見・提案が出され、その後 各班の発表がなされた。成果として①「あいさつ運動の前進」、②「デジタル教材、タブレット学習の進展」等があげられる。

課題の一つとして取り上げられた話題として、いじめをなくすよう児童の中からいじめを抑止したり、啓発したりすることができるようにしていく必要もあるという意見があがった。

## 5 次年度の学校運営状況に関する基本的な方針について

校長より「熟議で出された多くの意見等をもとに、① 児童が自ら考える学習機会の必要性を感じた。② 地域、保護者等の環境・生活、考え方等が大きく変化しており、学校の関わり方・手伝い方等を再考してみたい」、「地域、保護者等のニーズをしっかりと受けとめ、学校としても『地域コミュニティ』づくりに積極的に取り組みたい」との発言があった。

## 6 事務連絡

（1）学校運営協議会委員へのアンケート調査について依頼

（2）次年度の学校運営協議会活動予定について報告

## 7 閉会宣言

①児童の主体的行動力を養う案として ○「デジタル教材、タブレット学習のより良い活用」、○「コミュニケーション力の向上」、○地域とのつながりの強化」等があげられた。次に、②身近な暮らしの中(学校・家庭・地域)で ○「児童の興味を深める機会をつくる」、○「児童の活躍の場をつくる」等があげられた。また、③児童の安心・安全な学習環境づくりでは ○「登下校時のルールの啓発」、「街・道の変化を知る」等があげられた。更に、④いじめ対策として ○「児童同士の相互理解(思いやり)とコミュニケーション力の向上」があげられた。